

第3回日本海洋人間学会大会

大会次第

主催：日本海洋人間学会

会期：2014年9月27日（土）・28日（日）

会場：東京海洋大学品川校舎白鷹館

【大会本部】

〒108-8477 東京都港区港南4-5-7

東京海洋大学内 日本海洋人間学会事務局

TEL/FAX：03-5463-4276（千足研）

E-mail：jsmta@jsmta.jp

第3回日本海洋人間学会大会

学会役員

会長 : 神田一郎

副会長 : 小峯 力 柳 敏晴

常務理事 : 佐野裕司

理事 : 赤嶺正治 海野義明 久門明人 佐々木剛 七呂光雄 高木英樹
武田誠一 千足耕一 藤本浩一 矢野吉治 吉本誠義

監事 : 菊地俊紀 寺澤寿一

事務局長 : 藤本浩一 (兼任)

大会実行委員会

実行委員長 : 武田誠一

委員 : 阿保純一 漆谷伸介 菊地俊紀 佐々木剛 佐野裕司 千足耕一
寺澤寿一 蓬郷尚代 藤本浩一

大会補助 : 石原里枝子 漆山裕樹 小林 俊 佐藤勇希 平 尚起 中島優里
成田千恵 諸星 亮

大会日程表

9月27日(土)

- 10:30～11:30 役員会 (5号館1階実験室)
- 12:00～ 受付開始
- 13:00 開会の辞
- 13:10～13:50 第3回学会大会基調講演「社会的共通資本の考え方」
- 14:00～15:15 シンポジウム「新しい時代の海洋労働環境」
- 15:25～17:50 口頭発表セッション1～3
- 18:00～20:00 懇親会 (大学会館食堂)

9月28日(日)

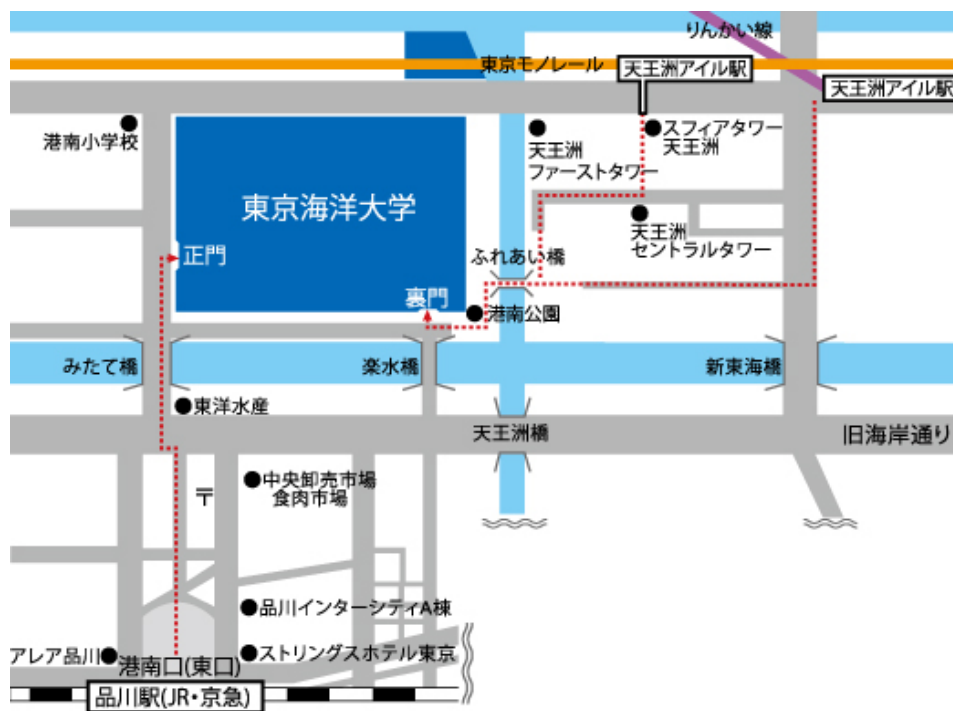
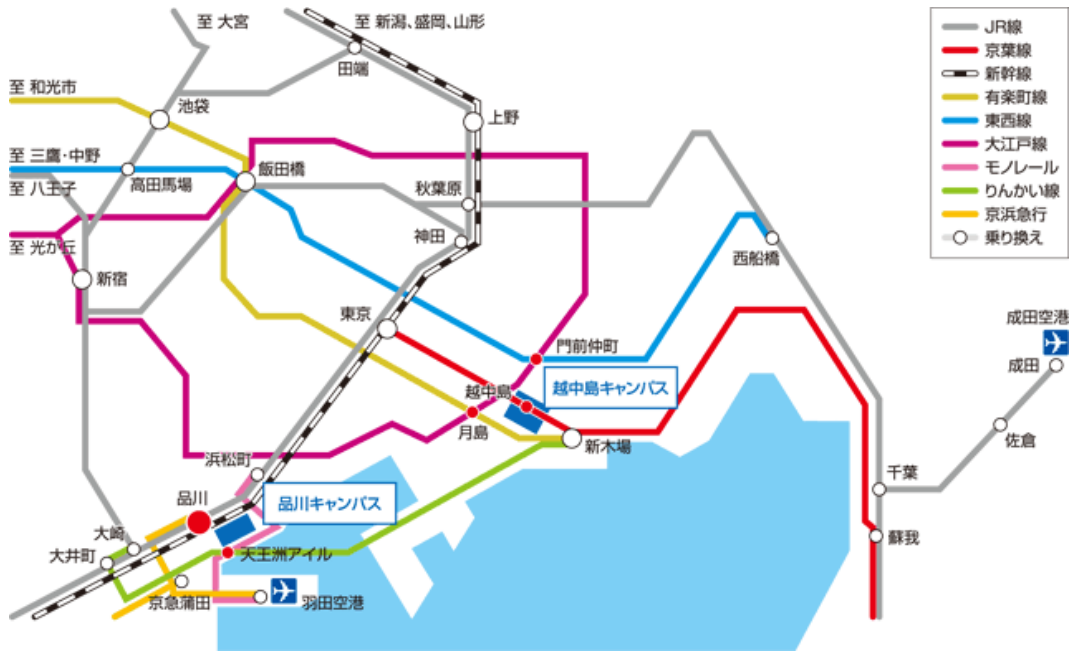
- 09:30～ 受付開始
- 10:00～11:50 口頭発表セッション4, 5
- 11:50～12:20 ポスターセッション
- 12:20～13:10 昼食
- 13:10～14:00 第3回日本海洋人間学会総会
- 14:10～15:55 シンポジウム「海女の文化と労働環境」
- 16:00～16:10 優秀発表賞等表彰式
- 16:10 閉会の辞

※プログラムは変更される場合があります

東京海洋大学品川キャンパスへのアクセス

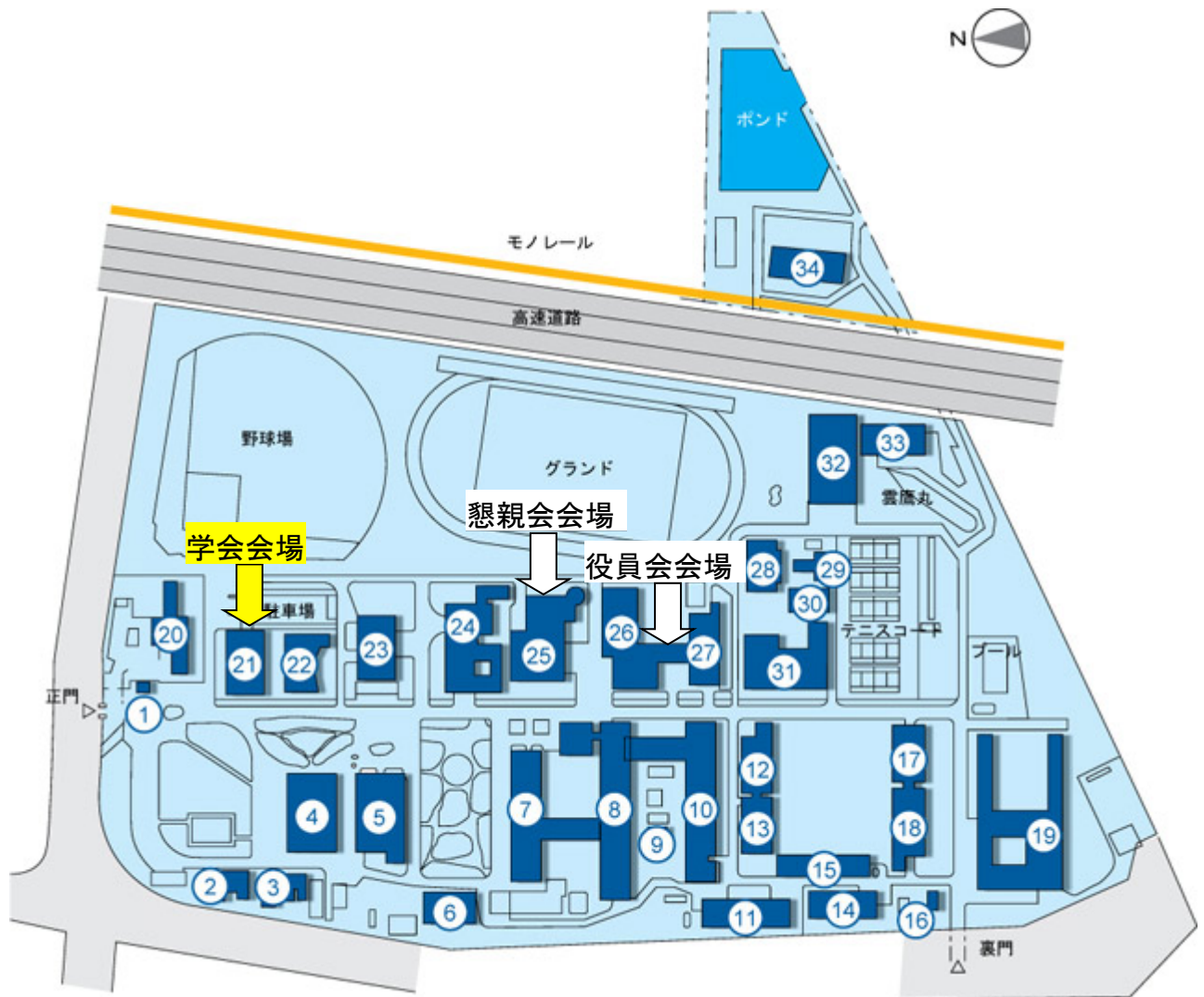
会場：東京海洋大学品川キャンパス（〒108-8477 東京都港区港南4-5-7）

- 交通： 1)JR線・京浜急行線「品川駅」下車、港南口より徒歩約10分
2)りんかい線「天王洲アイル駅」下車、徒歩約15分
3)東京モノレール「天王洲アイル駅」下車、徒歩約10分



品川キャンパス案内図

- ・発表・総会会場（白鷹館 1F 講義室：21）
- ・役員会（5号館 1F 実験室：27）
- ・懇親会（大学会館・食堂：25）



1	守衛所	13	7号館/産学・地域連携推進機構	25	大学会館
2	保健管理センター	14	放射性同位元素利用施設	26	講義棟
3	職員集会所	15	水理模型実験棟	27	5号館
4	本部管理棟	16	廃水処理施設	28	武道館
5	講堂	17	8号館	29	体育管理・合宿施設
6	回流水槽実験棟	18	9号館	30	課外活動施設
7	1号館	19	学生寮（朋鷹寮）	31	特殊実験棟/情報処理センター
8	2号館	20	国際交流会館	32	体育館
9	飼育実験室	21	白鷹館	33	漁業機械学実験実習棟
10	3号館	22	楽水会館	34	艇庫
11	4号館	23	水産資料館		
12	6号館	24	附属図書館		

プログラム

9月27日(土)

10:30～11:30 役員会

12:00～ 受付開始

13:00 開会の辞

13:10～13:50 第3回学会大会基調講演「社会的共通資本の考え方」

演者：間宮陽介（京都大学）

司会：佐々木剛（東京海洋大学大学院）

14:00～15:15 シンポジウム「新しい時代の海洋労働環境」

司会：海野義明（NPO法人 オシャンファミリー海洋自然体験センター）

シンポジスト：三原康作（三原汽船株式会社 専務理事）、寺田美夏（三原汽船株式会社 船長）
「船会社における人材育成」

阿部泰浩（株式会社阿部長商店 代表取締役社長）

「被災地気仙沼水産産業復興の鍵、労働負担軽減と漁船の労働環境」

15:25～16:10 口頭発表 セッション1

座長：国枝 佳明（（独）航海訓練所）

Oa01. 海上スポーツ・レジャーでも利用できるハンディ型国際VHFの実環境での評価

霜田一将（（独）航海訓練所）

Oa02. 眠気を要因とする船舶事故の発生状況に関する研究

漆谷伸介（運輸安全委員会）

Oa03. 漁船員の労働安全対策の進展について

久宗周二（高崎経済大学）

16:15～17:00 口頭発表 セッション2

座長：渕 真輝（神戸大学大学院海事科学研究科）

Oa04. ポジティブな思い出からみた帆船実習の教育効果

行平真也（福岡工業大学）

Oa05. 帆船の訓練効果に関する研究 —創造性の発達—

国枝佳明（（独）航海訓練所）

Ob01. セイル・トレーニングによるライフスキル向上とその検証方法の提案

若松幸秀（神戸大学）

9月27日(土)

17:05～17:50 口頭発表 セッション3

- 座長：久門明人（(独)航海訓練所）
- Oa06. ヨット体験が子どもの心理・行動面へ及ぼす影響
布野泰志（鹿屋体育大学）
- Oa07. 海技の教育訓練方法に関する研究－船上 Mobile-learning の試行と学習特性－
村田 信（(独)航海訓練所）
- Ob02. 海事における実習授業での反転授業の試み
渕 真輝（神戸大学）

18:00～20:00 懇親会（大学会館食堂）

9月28日(日)

09:00～ 受付開始

10:00～10:45 口頭発表 セッション4

座長：千足耕一（東京海洋大学大学院）

Oa08. SUP（スタンドアップパドルボード）愛好者の特性と普及に向けた課題

平野貴也（名桜大学）

Ob03. 豪州におけるジュニアライフセービングプログラム

音野太志（琉球大学）

Ob04. 海洋活動における体験学習アプローチの提案

村井伸二（玉川大学）

10:50～11:50 口頭発表 セッション5

座長：蓬郷尚代（東京海洋大学大学院）

Oa09. セーリングクルーザー体験乗船における不安要因の研究

寺澤寿一（東京海洋大学大学院）

Oa10. アメリカにおける釣り人の専門志向化とレジャー満足度

松本秀夫（東海大学・東京海洋大学大学院）

Oa11. アウトリガーカヌーを用いた海洋実習の教育的効果

小林 俊（東海大学）

Oa12. 息こらえが脈波伝播速度および血圧に及ぼす影響

漆山裕樹（東京海洋大学）

11:50～12:10 ポスターセッション

Pa01. 実習感想文における経験の意味づけとアイデンティティ

守下奈美子（筑波大学）

Pa02. 海での活動期間の違いが参加者の海洋リテラシーに及ぼす影響

蓬郷尚代（東京海洋大学大学院）

Pa03. 指導者から見たカッター研修における教育的効果に関する研究

佐藤勇希（東京海洋大学大学院）

Pa04. 心理測定尺度に見るセーリング教育の効果に関する研究

久保田秀明（創価大学）

12:10～13:10 昼食

タイトルの記号は以下の通りです

Oa：口頭による研究発表

Ob：口頭による実践報告

Pa：ポスターによる研究発表

Pb：ポスターによる実践報告

9月28日(日)

13:10～14:00 第3回日本海洋人間学会総会

14:10～15:55 シンポジウム「海女の文化と労働環境」

司会：千足耕一（東京海洋大学大学院）

シンポジスト：山本和子（ジェンダー&海女研究）

「海女という仕事」

小暮修三（東京海洋大学大学院）

「観光〈海女〉の系譜：海女の文化遺産化を巡る社会学的アプローチ」

藤本浩一・千足耕一（東京海洋大学大学院）、山川 紘（東京海洋大学）

「潜水操業実態および健康状態から推察した海士・海女潜水の安全性
および改善策」

16:00～16:10 優秀発表賞等表彰式

16:10～ 閉会の辞

学会大会参加者へ

大会へのご参加は、下記の年会費および大会参加費を納めた本学会会員に限ります。本学会会員以外の方も臨時会員として、大会当日に参加費を納めることで参加することができます。なお、ご入会を希望される場合は、この他に入会金 1,000 円と年会費 6,000 円が必要となります。

※参加費等は、事務局口座への前納振込(期限:2014年9月17日)を推奨します。

	年会費	前納大会参加費	大会当日参加費
正会員	6,000円	3,000円	5,000円
学生会員	3,000円	1,000円	2,000円 (学生証を提示)
賛助会員	一口20,000円	1,000円	2,000円 (一口1名まで)
臨時会員	—	—	5,000円 (大会当日受付)

シンポジストへ

- 発表形式は、PowerPoint を使用した液晶プロジェクターによる一面映写を原則とします。また、発表中のパソコンの操作は、発表者の責任において行って下さい。なお、発表時間は基本的に30分となっておりますが、司会との打ち合わせにより調整頂いても結構です。
- 発表用 PowerPoint ファイルは、受付に準備されている学会所定のパソコンにコピーしたのち、必ずご自身で動作確認を行って下さい。なお、コピーはセッション毎に定められた以下の日時にてお願い致します。

シンポジウム「新しい時代の海洋労働環境」 27日 12:00～13:00

シンポジウム「海女の文化と労働環境」 28日 12:10～13:10

プレゼンテーション用のパソコンは学会本部で準備したものを使用し、それ以外のパソコンは原則として使用できないものとします。パソコンのシステムは、Windows7、PowerPoint2010 となります。

- PowerPoint ファイルに動画を埋め込む場合は、AVI 形式、WMV 形式など、Windows7 環境下での PowerPoint2010 において再生可能であるファイル形式、なおかつ容量も極力少なくしたものをご使用ください。また当日は PowerPoint ファイルのみならず、動画ファイルの原本も合わせてお持ちください。学会本部でも動画ファイル形式や再生に関して幅広く対応できる準備を整えておりますが、万が一再生できない場合は何卒ご容赦頂ければ幸いです。

一般口頭発表者へ

- 発表者は会場到着後、ご自身の発表の前までに必ず受付を済ませてください。
- 発表形式は、PowerPoint を使用した液晶プロジェクターによる一面映写を原則とします。また、発表中のパソコンの操作は、発表者の責任において行って下さい。
- 前演者の発表が開始した後に必ず次演者席へお座り下さい。1 演題の持ち時間は、13 分(発表10分、質問3分)です。呼び鈴は8分に1回、10分に2回、13分に3回鳴ります。発表時間を厳守して下さい(持ち時間13分を経過した場合は、発表を打ち切って頂く場合も有ります)。
- 発表用 PowerPoint ファイルは、受付に準備されている学会所定のパソコンにコピーしたのち、必ずご自身で動作確認を行って下さい。なお、コピーはセッション毎に定められた以下の日時にてお願い致します。

セッション1 27日 12:00～13:00 セッション4 28日 09:00～09:40

セッション2 27日 12:00～13:00 セッション5 28日 09:00～09:40

セッション3 27日 12:00～13:00

プレゼンテーション用のパソコンは学会本部で準備したものを使用し、それ以外のパソコンは原

則として使用できないものとします。パソコンのシステムは、Windows7、PowerPoint2010 となります。

5. PowerPoint ファイルに動画を埋め込む場合は、AVI 形式、WMV 形式など、Windows7 環境下での PowerPoint2010 において再生可能であるファイル形式、なおかつ容量も極力少なくしたものをご使用ください。また当日は PowerPoint ファイルのみならず、動画ファイルの原本も合わせてお持ちください。学会本部でも動画ファイル形式や再生に関して幅広く対応できる準備を整えておりますが、万が一再生できない場合は何卒ご容赦頂ければ幸いです。

一般ポスター発表者へ

1. 発表者は会場到着後、指定質疑応答時間（28日 11:50～12:10）の前までに必ず受付を済ませてください。
2. ポスターのサイズは、A0 版縦置き（1,189mm×841mm）の範囲内とします。
3. ポスターは、27日 12:00 から 28日 10:00 までに、発表者の責任において掲示して下さい。また発表者は、指定時間中（28日 11:50～12:10）ポスターの前にて質疑応答を行ってください。取り外しは 28日 12:10 から 16:15 までに行ってください。なお掲示場所は、学会会場 1 階の受付奥のスペースとなります。詳細は当日受付にてご確認ください。
4. 掲示用のピンまたは磁石等は学会本部にて準備しております。

宿泊施設の手配について

宿泊施設の手配は大会事務局では一切行っておりませんので、個人にてご手配ください。

昼食について

東京海洋大学品川キャンパス付近は、品川駅港南口にかけて多数の飲食店、コンビニエンスストア等がありますので、そちらをご利用ください。

※27日土曜日は、理事・監事および役員会出席者に弁当の用意があります。

※28日日曜日は、理事・監事・代議員に弁当の用意があります。

懇親会（9月27日 18-20時 大学会館）にご参加の方へのお願い

懇親会費は下記のとおりとなっております。事務局口座への前納振込（2014年9月17日まで）を推奨します。

	前納	当日
一般	3,000円	4,000円
学生	2,000円	3,000円

海洋人間学雑誌 投稿料無料のご案内

第3回学会大会にて口頭発表またはポスター発表が行われた演題につきましては、2014年11月29日までに海洋人間学雑誌（ISSN:2187-0691）にご投稿頂きますと、通常投稿料が原著、研究資料、報告書は1編あたり10,000円、短報は1編あたり5,000円となっておりますところ、全て無料と致します。投稿規定につきましては学会 HP（<http://www.jsmta.jp>）をご参照ください。